

# 2024 年度全国がん検診指導者研修

## ○概要

受講期間：2024 年 9 月 24 日（火）～2025 年 1 月 31 日（金）【申込期限：1 月 17 日（金）】

開催方式：e ラーニング（教育研修管理システム <https://learning.ganjoho.jp/rpv/>）

目的：がん検診における地域の課題解決を適切に指導するための知識や、がん部会の適切な運営方法等（主に医師向けの内容）、指導者に必要な知識とスキルの習得を目指します。

受講対象：都道府県が設置する生活習慣病検診等管理指導協議会（胃がん部会、大腸がん部会、肺がん部会、乳がん部会、子宮がん部会）の関係者（部会長、副部会長等）、及び医師会関係者。  
申込条件等の詳細はがん情報サービスをご参照ください。

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/official/cancer\\_screening\\_leadership/2024.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening_leadership/2024.html)

事務局：国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室

## ○プログラム

講義名	内容	時間	講師
第1章 検診と診療の違い	・臨床医の多くが陥りがちな検診と診療のセッティングの違い（有病率が異なる点） ・集団医療と個別医療の違い	11 分	前田 寿美子 (独協医科大学)
第2章 がん検診の原則	Wilson & Junger の原則 ・検診の目的 ・有効性の評価 ・感度／特異度（トレードオフの関係） ・受容性 ・キャパシティ	10 分	鶴田 智彦 (香川大学)
第3章 がん検診の利益と不利益	・がん検診の利益 ・がん検診の不利益 (偶発症, 偽陽性による精神的負担, 過剰診断) ・利益／不利益バランス	15 分	大田 浩司 (福井県立病院)
第4章 がん検診プログラム導入時の検討事項	・国指針での推奨の受け捉え方 ・導入に向けての検討項目	10 分	中山 富雄 (国立がん研究センター)
第5章 がん検診精度管理（マネジメント）の 意義と要点	・がん検診の精度管理とは ・精度管理の指標と手法 ・精度管理における関係機関の役割 ・がん部会に求められる活動	13 分	小池 智幸 (東北大学病院)
第6章 がん検診事業の評価と改善指導の実例	・自治体や検診実施機関への助言・指導 ・検診事業をどう評価するか？ ・具体的な助言例	10 分	中山 富雄 (国立がん研究センター)

○本研修は 5 がん（胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん）で共通の内容です。

臓器別の要点については\*2024 年度全国がん検診従事者研修（実務）を受講してください。

\*2024 年度全国がん検診従事者研修（実務）開催期間：2024 年 6 月 24 日(月)～2024 年 12 月 23 日(月)【申込期限：12 月 13 日(金)】

[https://ganjoho.jp/med\\_pro/training/official/cancer\\_screening2/2024.html](https://ganjoho.jp/med_pro/training/official/cancer_screening2/2024.html)

## ○問い合わせ先

- e ラーニングの操作方法等、教育研修管理システムに関する問い合わせ

国立がん研究センター研修事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）  
TEL: 0422-24-6818（平日 10:00～12:00、13:00～16:00）

[お問い合わせフォーム](#)（クリックするとお問い合わせフォームが開きます。）

- 研修内容に関する問い合わせ（メールでお送りください） E-mail: seminar-scr@ncc.go.jp

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部 検診実施管理研究室